（様式12）

令和5年度英語教育改善プラン推進事業 【山形県】

文部科学省

☐ 高等学校等における ICTの活用促進　☐ 学校種間連携の強化　☑ 英語担当教師及び小学校教師の 指導力・英語力の向上

当該地域における英語教育の課題

① **CAN-DOリスト形式による学習到達目標の活用と言語活動の充実（小中高）**
学習到達目標の活用を充実させ、指導と評価を関連付けた授業づくり（言語活動を通した指導）が必要である。
学習到達目標の状況：小　把握55.3%（70.0%）中　把握71.3%（78.4%）
言語活動の割合（授業の50%以上）：小86.8%（91.9%）中69.8%（74.5%）高49.8%（52.9%）
生徒の英語力：中 42.3%（49.2%）　高 48.5%（48.7%）

② **小中連携の充実（小中）**
系統的な指導の充実に向けた小中連携の機会の確保。小中連携の実施状況：実施した64.9%（75.5%）

③ **ＩＣＴの活用（小中高）**
４技能５領域のバランスの取れた資質・能力の育成に向けて、デジタル教科書や一人一台端末等の活用の促進。
一人一台端末等の活用（50%以上の授業）：小33.3%（45.1%）中37.2%（47.8%）

④ **パフォーマンステストの実施（高校）**
授業における4技能５領域のバランスの取れた言語活動の充実と連動して、「話すこと」「書くこと」の両方の
パフォーマンステストを行う必要がある。 パフォーマンステストの実施状況　48.5%（48.6%）

【出典】R4英語教育実施状況調査：本県（全国平均）

＜実施内容＞

◆ **研修会の開催と市町村教育委員会訪問サポートの実施【小中】　（課題①②）**
「単元目標の実現を目指した指導の在り方」（小）、「全国学力・学習状況調査問題から考える言語活動の充実」（中）をテーマに研修会を開催した。各研修の概要を英語通信として小中学校双方に送付することで、小中接続の観点から目標や指導の在り方について共通理解を図った。（小：約50名、中：約160名参加）

◆ **研修協力校による実践研究 【小中】　（課題②③）**
中学校１校、同中学校区の小学校１校を研修協力校として、小中連携の推進とICTの活用を踏まえて実践研究を行った。校内授業研究会・公開授業研究会に、小中学校教員が参加し、小中の指導の在り方について、共通点や相違点など理解を深めながら協議を行った。

◆ **研修協力校による実践研究 【高】　（課題①④）**
普通科２校、専門学科１校を研修協力校として、授業での言語活動とパフォーマンステストの改善を踏まえて実践研究を行った。公開授業研究会に、高等学校教員（各地区総計58名）が参加し、授業での言語活動の在り方やパフォーマンステストについて理解を深めながら協議を行った。

◆ **英語教育充実研修会 【高】　（課題①④）**
パフォーマンステストを含む評価問題の改善に関する研修会を大学教授を招聘して行った。県内高等学校の教員（43名）が参加した。学習指導要領で求められている指導と評価についての講義後に持参した自校の評価問題の振り返りを行った。

◆ **ICTを活用した英語教育研修会 【高】　（課題③）**
県立高等学校の希望校に、指導者用デジタル教科書または教材を配布し、授業での活用促進を図った。指導者用デジタル教科書及び教材の活用についての研修会を外部講師を招聘して行った。県内の高等学校教員（38名）が参加し、自校で使用している指導者用デジタル教科書または教材を持参して、授業ですぐに実践できる使用方法について研修した。研修協力校による公開授業ではデジタル教材をどのように活用しているかも含めて公開した。

＜成果指標に基づく成果及び検証＞

◆ **課題①に対する成果検証**

令和５年度英語教育実施状況調査では、小中学校においては、「学習到達目標の達成状況の把握」について、小中学校ともに増加した。これは、本県作成の『学校教育指導の重点』の一つに「学年毎の目標に基づいた単元づくり」を示し、教育事務所や市町村教育委員会と共通理解のもと指導にあたったことと、研修会で全県の英語担当教員と具体的な授業づくりのポイントを共有したことが要因の一つと考えられる。一方、中学校における「生徒の英語力」は向上したものの、小中学校ともに、児童生徒の言語活動の充実を図る授業づくりに課題が見られた。

高等学校においては、生徒の英語による言語活動がすべての科目で増加した。研修協力校での公開授業やその他の研究授業では、英語コミュニケーションの授業が多かったが、その授業の中で、どのような活動ができるか、やり取りをどのように展開させていくか、生徒の発表活動に向けてどのような言語活動が有効になるかを指導主事から指導者へ伝えた結果、論理・表現の授業での言語活動も増加したと考えられる。

（様式12）

令和5年度英語教育改善プラン推進事業 【山形県】

文部科学省

- 中学生・高校生の英語力　中：49.2%（6.9pt.UP）高：55.1%（6.6pt.UP）
- 学習到達目標の状況【把握】　小：76.1%（20.8pt.UP）中：78.7%（7.4pt.UP）高：52.6%（1.7pt.UP）
- 児童生徒の英語による言語活動の状況　小：88.9%(2.1pt.UP)　中：69.6%(0.2pt.DN) 高：62.0%(12.2pt.UP)
- パフォーマンステストの実施状況　高：45.7%（2.8pt.DN）

◆ 課題②に対する成果検証

令和５年度英語教育実施状況調査では、「小中連携の実施率」は84.0%となり、前年度から19.1pt増加した。研修協力校や本県事業の英語教育実践リーダーの小中学校がともに授業づくりに参画し、小中連携の視点を踏まえた実践等を全県に発信したこと、公開授業研究会で小中学校教員が一同に会して協議を行ったことが、小中連携の推進に寄与したと捉えている。

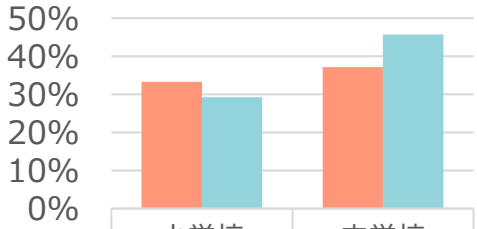
◆ 課題③に対する成果検証

令和５年度英語教育実施状況調査における、「児童生徒の一人一台端末の活用状況（50%以上の授業）」は、右グラフの結果となった。小学校については、児童と指導者、児童同士のやり取りの充実を図った一方、一人一台端末の有効な活用について、十分な普及には至らなかった。中学校では、研修協力校を中心に、ＩＣＴを活用した実践を公開することで、ＩＣＴの活用実践を共有することができたと捉えている。

高等学校では、学校現場における実践的活用をすすめながら、指導者用デジタル教科書や教材の利点や授業や普段の指導にどう活用するかに関する研修会を、外部講師を招聘して実施した。

指導者用デジタル教科書等の利活用についてのアンケートでは、指導者用デジタル教科書等を毎時間使用している割合が60%近くあり、今後も使用したいとする割合は「そう思う」「ややそう思う」を併せて97.2%となっていることから、指導者用デジタル教科書等の利活用は十分にされていると考えられる。

一人一台端末の活用状況（50%以上の授業）
※県集計値



	小学校	中学校
R4	33.3%	37.2%
R5	29.3%	45.7%

◆ 課題④に対する成果検証

普通科の「論理・表現Ⅰ」「英語コミュニケーションⅡ」においては改善が見られた。特に、「論理・表現Ⅰ」においては、もともと実施割合が高かったライティングのパフォーマンステストに加え、スピーキングのテストの割合が増加している。一方、普通科の「英語コミュニケーションⅠ」において、両方のパフォーマンステストを実施している割合は減少しているが、スピーキングのパフォーマンステストは全ての学校で実施されている。英語教育充実研修会や研修協力校での公開授業での研修会を通して、「話すこと（やりとり）」や「話すこと（発表）」の授業での言語活動を通した指導が増えたことが要因の一つであると考える。英語コミュニケーションでは「話すこと」、論理・表現では「書くこと」を重点的に指導いている傾向があることと、どの単元でどの力を育成し、その評価をするのかを年間指導計画に反映されていない学校が多い。来年度以降も様々な研修会を通して、科目の目標を踏まえた単元目標の設定、そして到達度の評価方法を学校として検討し、年間を見通して指導をすることを伝えていく。

＜今後の方向性＞

◆ 課題①②③に対して

小学校においては、学習到達目標の達成状況を把握している学校の割合は増加したが、設定率が100%となっていない状況を踏まえて、育成を目指す資質・能力を明確にした指導の実現に向けて、学習到達目標の設定の意義や有用性を、学校訪問や英語通信等を活用して伝えていく。中学校においては、教員の英語力に関して伸びが見られなかった現状を踏まえ、授業を実際のコミュニケーションの場とし、生徒の言語活動の充実を図るため、教師の英語使用について、学校訪問や実践事例の発信により改善を図っていく。

◆ 課題④に対して

「書くこと」の授業での指導や評価方法などについての研修会を通して普及させていく必要がある。また、英語科教員間で、指導と評価のあり方が共有されておらず、３年間を見通した指導と評価についての検討が不十分であることから、単元を通して生徒にどの力をつけさせたいのか、それをどのように評価するのかを考える研修会等を行っていく。

成果普及

▶ **研修協力校におけるICT活用事例**
山形県教育センターHP：　https://www.yamagata-c.ed.jp/file/2129
山形県HP：　https://x.gd/PRYfM

▶ **高等学校　研修協力校における指導事例**
https://www.pref.yamagata.jp/700013/kokoeigo/20240227.html